

高等学校外国語科学習指導案

日 時 令和4年10月26日(水)
第5校時 13:30~14:20
対 象 1年3組(40名)
学校名 北海道釧路明輝高等学校
授業者 教諭 野田 由紀恵
場 所 3階 社会科教室

1 単元名

Lesson 7 Dear World: Bana's War

教科書: LANDMARK Fit English Communication I

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- ・戦争下に置かれている少女、Bana から発信された SNS が与えた影響について、聞いたり読んだりして理解したことを基に、情報や考えなどを表現することができる。
- ・SDGs の「誰も取り残さない」という世界目標と、現在の自分が置かれている環境を踏まえながら、SNS が果たす役割や、自分にできることなどについて、論理性に注意して書いて伝えることができる。

(2) 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	【知識】 SNS が果たす役割や、自分にできることなどについて表現するために必要な語句や表現を理解している。 (関係代名詞、分詞構文) 【技能】 自分の意見を論理性に注意して書いて伝えるための技能を身に付けている。	戦争下で SNS が与えた影響について理解したことを基に、SDGs の「誰も取り残さない」という世界目標と、現在の自分が置かれている環境を踏まえながら、SNS が果たす役割や、自分にできることなどについて、論理性に注意して書いて伝えている。	戦争下で SNS が与えた影響について理解したことを基に、SDGs の「誰も取り残さない」という世界目標と、現在の自分が置かれている環境を踏まえながら、SNS が果たす役割や、自分にできることなどについて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。

3 指導にあたって

(1) 教材観

「楽しく学習することができ、使っているうちに英語が好きになり、英語力も身につく教科書」

- 特徴：①生徒にとって興味がわく話題を取り上げ、「もっと知りたい」から「自分の気持ちを発信したい」という思いを育て、「話す」「書く」活動へと着実に発展させることができる。
- ②コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを設定した言語活動を紙面ふんだんに提供し、実際に英語を繰り返し使える。

教科書で取り扱う題材は、英語が苦手な生徒にとって読みやすく、かつ思考を深めることができるものが多く、また、生徒による言語活動を中心とした授業づくりがしやすい。

本単元では、戦争下で SNS が与えた影響について書かれた英文を基に、生徒による言語活動（「書くこと」）につなげることとしている。SNS が果たす役割について、自分の置かれている環境を踏まえながら思考を深め、考えなどを表現する機会としたい。

(2) 生徒観

入学当初から英語に対して苦手意識を持ち、例えばアルファベットの「b」と「d」が混在する生徒や、英語学習の必要性を感じていない生徒もいるが、授業中の言語活動や協働的な学びを通して、徐々にではあるが、英語学習への積極的な取組が見られるようになってきている。

(参考：年度開始時の英語科授業アンケートより)

- 英語に対して 好き：29.7%、苦手・嫌い：70.3%
- 自分の意見を伝えること 好き：48.6%、苦手・嫌い：51.4%
- 学習内容に対して疑問を持つ、考える 好き：67.6%、苦手・嫌い：32.4%

- 授業内外問わず、英語を読むこと 好き：43.3%、苦手・嫌い：56.7%
- 授業内外問わず、英語を書くこと 好き：24.3%、苦手・嫌い：75.7%
- 授業内外問わず、英語を聞くこと 好き：70.3%、苦手・嫌い：29.7%
- 授業内外問わず、英語を話すこと 好き：29.7%、苦手・嫌い：70.3%

(3) 指導観

年度当初は、少しでも生徒に英語学習を楽しんでもらうため、授業冒頭にはゲーム性の高い活動を取り入れることが多かったが、約半年が経過し、徐々に英語学習に集中して取り組めるようになってきたため、より内容面や言語面への生徒の意識を高めるよう工夫をしている。

今年度から定期考査を廃止し、年間を通して計画的に指導と評価を行えるよう、言語活動の充実を図っている。

年度当初に OREO (Opinion-Reason-Example/Explanation-Opinion) に沿ったライティングの指導を年次全体で実施しており、本単元においても用いることとしている。また、SDGs の学習については、総合的な探究の時間や家庭科の時間など、教科等横断的に取り扱っており、本校の教育活動全体を通じた学びとなるよう配慮している。

4 単元の指導と評価の計画 (計8時間)

※「○」は記録に残す評価

時間	ねらい (■), 言語活動等 (丸数字)	評価の観点			備考
		知	思	態	
1 } 4	<p>■戦争下で発信された SNS が与えた影響について書かれた本文の概要や要点を理解する。(パートごと)</p> <p>①初見の本文内容を、教科書を見ずに、それぞれの端末を用いて聞き、聞き取った語句(内容語)を書き取りながら、概要や要点を把握する。</p> <p>②聞き取った語句をペアで共有する。</p> <p>③教科書本文を読んで、概要や要点をペアで確認する。</p> <p>④キーワードだと考える語句をつなぎながら、本文の概要をペアで話して伝え合う。</p>				<p>・活動観察</p> <p>・スプレッドシート</p>
5	<p>■文法知識を活用する力を確認する。</p> <p>①関係代名詞、分詞構文を用いて表現する。</p> <p>■時系列の出来事を聞き取る。</p> <p>①ある出来事について、時系列を表す語句に注意しながら、概要や要点を理解する。(副教材)</p>	○			<p>・form テスト</p> <p>・活動観察</p>
6 } 7	<p>■本文内容について、情報や考えなど表現する。</p> <p>①トピック (Big Questions) から1つ選択し、情報や考えなどを書く。</p> <p>②本文内容について、質問と解答を自分で作成し、ペアでやりとりをする。</p>	○	○		<p>・writing 課題</p> <p>・活動観察</p>
8	パフォーマンステスト: 「書くこと」	○	○	○	

5 パフォーマンステストの実施計画

領域	「書くこと」
関連する Can-Do リスト	語句や表現、文法事項などの知識を活用して、自分の考え等について、簡単な語や表現を使って書くことができる。(1年次)
実施内容 (指示内容)	SDGs の「誰も取り残さない」という世界目標と、現在の自分が置かれている環境を踏まえながら、SNS が果たす役割や、自分にできることなどについて、OREO を用いて自分の考えを書きなさい。
実施方法	<p>① 授業時間内で Chromebook を用いて取り組み、Classroom へ提出する。</p> <p>② 単語帳などは活用可能、翻訳機の使用は不可とする。</p>

■ 採点の基準

条件1：SDGsの「誰も取り残さない」という世界目標と、現在の自分が置かれている環境を踏まえて自分の意見を述べている。

条件2：SNSが果たす役割や、自分にできることなどについて、OREOを用いて述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	多様な語彙や表現を用いて、読み手に理解しやすい英文を書いている。	2つの条件を満たした上で、より説得力を持たせるために、その他の情報を効果的に加えながら書いている。	2つの条件を満たした上で、より説得力を持たせるために、その他の情報を効果的に加えながら書こうとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて書いている。	2つの条件を満たして書いている。	2つの条件を全て満たして書こうとしている。
c	bを満たしていない。	bを満たしていない。	bを満たしていない。

6 本時の展開（1／8時間目）

(1) ねらい

- ・初見の本文を聞いたり読んだりして、戦争下に置かれている少女、Bana から発信された、“I need peace.” というメッセージの背景や状況を捉えることができる。

(2) 展開

過程	学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意点
導入	・ Warm-up	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動として、各自のスマートフォンを用いて、単語練習を行う。 ・ 本文内容に関わる写真を基に、レッスンの内容を想像し、ペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短時間で実施し、ペア活動への雰囲気作りを意識する。
展開	【活動】 Bana から発信されたメッセージの概要を把握する。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスニング（語句の書き取り） ・ 語句の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自のスマートフォンを用いて取り組む。 ・ 聞き取った語句（内容語）をスプレッドシートに入力する。 ・ 共通して聞き取った語句を共有しながら、大事なキーワードは何かを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他のペアが聞き取った語句も参考にしよう指示する。 ・ 聞き取ってほしいものが出てこない場合は、頭文字などヒントを伝える。
まとめ	【活動】 聞き取った語句を踏まえ、Bana の身の上や、置かれている現状を捉える。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスニング（概要把握） ・ リーディング（本文理解） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文を再度聞きながら、本文の概要を捉える。 ・ 本文を読んで、文の概要や要点、詳細等をペアで確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き取った語句を踏まえるよう伝える。 ・ 聞き取れなかった語句や内容を確認するよう伝える。 ・ 全体で本文内容を確認する。
まとめ	・ 本時の復習	・ キーワードを踏まえ、本文内容を英語で要約して伝え合う。	・ 簡単な英文に置き換えるよう伝える。